

3 月 19 日

第 3 週分

回覽板

町道支障木の伐採作業について（お願い）

日頃、道路行政にご協力いただき、ありがとうございます。

町では、町道に覆いかぶさり、通行の支障となる樹木等の伐採を下記内容で実施します。

作業中は、通行にご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

なお、場所によっては個人所有地の木を伐採させていただくこともあるかと思いますが、ご理解ご了承をお願いします。

記

○作業の内容等

作業期間 **3月下旬までの内1週間程度**

(天候により実施させていただきます。)

施工箇所 **・見高長野稲取線(農免道路)全線**

・見高入谷1号線 (農免立体交差付近～入谷中村バス停付近)

☆作業困難箇所ですので作業中は迂回等ご協力をお願いします。

作業内容 **道路面からの高さ5mを目安に樹木伐採**

役場 建設課

☎ 34-1952



ユーラスエナジー河津カップ 2024

回覧

天城アタック 35



ボランティア募集

大会をお手伝いいただけるボランティアを募集します！



活動日時

2023年5月19日（日）

8:00～18:00の間で、約3～6時間

活動内容

コース上での誘導、給水所やゴール地点の運営補助など
大会前（5月上旬）にボランティア説明会を開催します。
申し込みされた方に個別に連絡します。

説明会

申し込み

ご希望の方は電話またはメールにてご連絡ください。

問い合わせ

電話 0558-32-0290（河津町観光協会）

メール info@amagiattack.com

ボランティアに参加していただいた方には大会グッズを配布します！

トレイルランニング大会とは？

林道や登山道など未舗装の道を走るランニングの大会です。

「天城アタック 35」は河津七滝をスタートし、二本杉峠、旧天城トンネル、鉢ノ山を通過して今井浜海岸にゴールする約35kmのトレイルランニング大会です。



大会ホームページ <https://www.amagiattack.com/>

主催 河津町トレイルレース大会実行委員会

（河津町、河津町観光協会、河津町商工会、七滝観光協会、今井浜観光協会、KURA-RUN OUTDOORS）

〒413-0512 静岡県賀茂郡河津町笹原 72-12（河津町観光協会内）

Tel 0558-32-0290 / メール info@amagiattack.com

大腸がん検診のご案内

大腸がんは・・・

がん死亡原因の 男性3位 女性1位

早期治療で90%以上が治ります

<対象者> 40歳以上（S60.4.1以前に生まれた方）

<負担金> 300円 ※70歳以上無料

<持ち物> 受診票（要記入）、負担金、便を採った検査キット



実施日	受付時間	会場
5月9日(木)	9:00~9:45	湯ヶ野駐車場(雨天の場合:基幹集落センター)
	10:00~10:45	谷津公民館(八幡神社)
5月10日(金)	9:00~9:45	浜公民館
	10:00~10:45	下佐ヶ野コミュニティ防災センター
5月13日(月)	9:00~10:00	河津桜観光交流館
5月14日(火)	9:00~10:00	保健福祉センター
5月15日(水)	9:00~10:00	オレンジセンター駐車場

予約
不要!

※上記巡回日以外にも胃・肺がん検診（7月）、特定健康診査（10月）時にも提出できます。

40~85歳の方には、郵送にてお知らせします。

86歳以上で受診を希望する方は、健康増進課までご連絡ください。

昨年度の大腸がん検診で要精密検査となり、精密検査未受診の方は、今回の大腸がん検診は受診できません。

問合せ先：河津町健康増進課（☎0558-34-1937）

春の全国交通安全運動

令和6年4月6日(土)～4月15日(月)の10日間

<運動の重点>

- 1 こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 3 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

！ 子供の急な飛び出しなどに注意



新年度に入り、通学・通園に不慣れな子供が多く道路を利用します。子供を見かけた時には、急な飛び出しなどを予測し、減速や間隔をあけるなどして、子供たちを交通事故から守りましょう。

交通安全協会下田地区支部・河津町・下田地区安全運転管理協会



河津バガテル公園にある「Working Space Bagarelle」。フランスの農家風で雰囲気あるスペース

暮らしの根っこを考える 河津町

静岡県賀茂郡河津町。伊豆半島南部の自然豊かなこの町で、2023年の秋、身近にあるものを題材にワークショップを行った。

観光以上移住未満で河津町に係る“関係人口創出”を題目にあげ、この3年ひたすら外に向けて発信する仕事をしてきたけれど、方向性はあったのだろうか… このまま突き進んでいいのかわからなくなり、河津町に住む人の小さな声に触れてみたくなることがきっかけだった。しっかり聞こえてくる大きな声だけではなく小さな声に。

「河津町に住む人々の目で、河津町を知りたい」

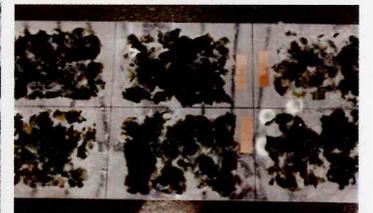
→完成した和紙。この状態でも
イシクラゲは生きている

↓採取したイシクラゲを
漉き込んでいく



←河津バガテル公園内で
イシクラゲを採取

↓採集時も乾燥時も、海苔の
収穫作業のようだ



井原宏路さん

紙漉きの講師、彫刻家。
生物の生きた痕跡や副産物
などを利用し、それらに伝
統的な技法を掛け合わせた
彫刻を制作。アートの世界
から環境問題を考える活動
にも力を入れる傍ら、美術
大学で教鞭をとる。

↑紙漉きワークショップは子供から
大人まで一緒に楽しめた

↑イシクラゲは藻の一種。水分を含むとぶよぶよ。乾燥していると
黒いビニール袋のようなちょっと微妙な見た目

身近な生物「イシクラゲ」を使った 紙漉きワークショップ

「イシクラゲ」という生物を知っていますか？ワークショップの題材となるイシクラゲは藻の一種で、芝生、土、コンクリート等どこにでも生息しています。水分を含んでいけば、ぶよぶよとした見た目で、踏めば足を取られて滑ることもあります。乾燥していると黒いビニール袋が地面に張り付いているような形状。かなり微妙な見た目です。いずれの形状でも彼らは生きているらしく、太古の昔から変わることのない姿で生き続けているのだそう。河津は天城山から海岸まで多様な自然環境が魅力のひとつであり、そのどこでも見かけるのがイシクラゲです。イシクラゲという名前を聞いたことがない町民の方でも、きっと一度は目にしたことがある身近な存在というのが私の見込みでした。

ワークショップには、小さな子どもから年配の方まで集まっていた。ただ、イシクラゲについて説明を受け、実際に採取して、洗って、紙漉きに取り入れてみるという体験をしました。講師は、彫刻家の井原宏路さん。井原さんは、生物の習性や生きることでも生み出す副産物をテーマにした作品を発表しています。井原さんがアーツカウンシルしずおかのマイクロ・アート・ワークショップ(MAW)を利用して、河津町へ1週間滞在した際、イシクラゲを収集していたので、私自身もこの生き物の面白さに気づきました。その時、イシクラゲで紙漉きができるという話を聞いたことがワークショップの題材に思いつきました。

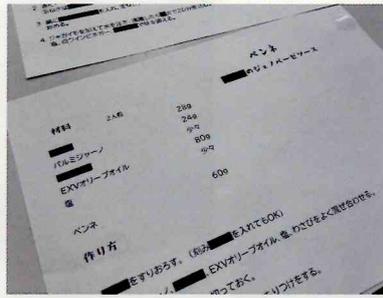
体験の合間に参加者とイシクラゲについていろいろな話をしました。イシクラゲの採集をしているときに「海苔の収穫作業みたい」という話題になるのも、海とともに生活してきた河津町ならではの感想だと思えます。みなさんイシクラゲに興味をもって参加したと予想していたけれど、「初めてみた」という意見が意外と多く、思ったほどイシクラゲは認知されていないものでした。確かに、普段の生活で地面に意識を向け、目を凝らす機会は少ないかもしれませんが、イシクラゲ同様、私たちが見過ごしているものが、この河津町にもまだまだたくさんあるのだからと改めて思いました。

ちなみにこのイシクラゲは食べることもできるらしい。今回採集したものはあまりにも泥のおいが強く、食べられませんでしたが、おいしい食べ方も今後ぜひ知りたいところです。

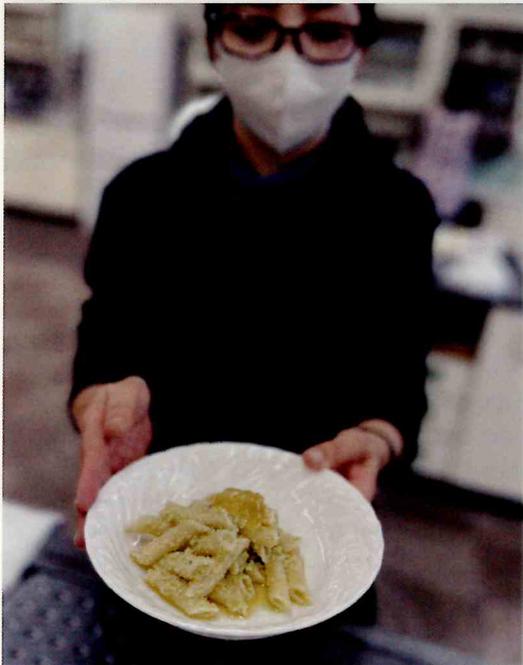
→隠された材料を想像しながらの
食材選びが楽しい

↓2人組でコミュニケーションを
とりながら調理スタート

↓ワークショップは食材が隠された
ゲーム感覚のレシピで調理



それぞれのチームのオリジナル
パスタとスープができあがった



↑わさびのパスタにマーマレードを
添えるアレンジに挑戦した

↑みなさんさすが手際良く、調理は
テキパキ快調に進んだ

河津特産の生ワサビを使った 調理ワークショップ

調理ワークショップを行う上でも河津の暮らしをテーマにしているので、一品は河津町の特産品であるわさびを料理の主役に使いたいと思いました。今回の調理ワークショップには講師はいませんが、料理の腕を上げるための教室ではなく、「食」を切り口に集まった人たちが交流する場を作りたいから。用意したのは、ところどころ黒塗りされた穴埋め問題のような文字だけの2つのレシピ。普通に作れば、わさびパスタとトマトスープができあがるはずだけど、隠された食材を解き明かさないと完成しない、ゲーム感覚を併せ持つ調理ワークショップです。日常的に料理をしている経験豊富な参加者たちが、初対面でも楽しくコミュニケーションを取りながら調理してほしい。食材も相談しながら選んでもらうスタイルなので、全てを1カ所に並べ、その中にはトラップ的な食材もいくつか混ぜることにしました。

参加者が2人1組のチームをつくり挑戦する調理場は、料理対決番組を彷彿とさせるような活気。同じレシピをみて作ったにも関わらず、各チームそれぞれ似ているようで異なった料理を作り上げてくれました。黒塗りされた食材は正解があるとはいえ、思いを巡らせ、日々の経験を活かして作ったのだから、それぞれみんな違っていてもすべてが正解なのだ。アイデアと挑戦次第で「答え」はいかようにも変化するものだと改めて感じました。

そして私が何よりも印象深かったのは、トラップとして用意したマーマレードが大活躍したこと。わさびのパスタの辛みの緩和と味の変化を楽しむことに一役買ってくれました。マーマレードの材料となる柑橘も河津の特産品です。今後も、わさびと柑橘といった特産品同士を組み合わせ、相乗効果をもたらすオリジナルレシピが続々に考案されていくことにも期待したいと思います。

→調理ワークショップの試食をしながら、参加者のみなさんと河津についておしゃべりも

↓紙漉きワークショップを開催した河津バガテル公園内の Working Space Bagatelle には、ブックカフェやコワーキングスペース、ミーティングルーム、レンタルホールがあり、イベントやワークショップで使用することができる



↑伊豆半島の南東部、河津町は天城山から太平洋まで、山川海と多種多様な自然に恵まれた町。早咲きの河津桜発祥の地で、温泉地としても人気



高野ゆらこさん

ワークショップのファシリテーターを担ってくれた、俳優の高野ゆらこさん。舞台を中心に、TVドラマや映像作品等でもひとクセのある脇役で出演するなど幅広く活躍中。

暮らしの根っこを考える

ワークショップ後、参加してくれた人達と話をする時間を設けました。私は「タウンミーティング」というものに実は苦手意識があります、自分の意見を言葉にするのが怖いのです。だから、タウンミーティングに同様の苦手意識を持つ方の気持ちも少しはわかるつもりでしたが、今回はそういう方々の声こそ聴きたかったのです。そのために全てのワークショップを通じて、ファシリテーターとして尽力してくれたのが俳優の高野ゆらこさん。参加者の方がリラックスできる構成や進行を考え、「黒塗りレシピ」などコミュニケーションを取りやすい仕組みづくりを提案してくれました。

私は河津で生活している中で、河津に住む人の「欲」を感じるものがあまりありませんでした。「欲」という一文字にすると語弊が生じるかもしれないけれど、「地域に求めていること」がみえにくいのです。それでも河津町に住む一人ひとりが生活する中で感じる違和感や不便さはあるのだと感じていました。例えば公共の交通機関の接続の悪さとか、一つひとつは些細なことであっても、それも暮らしの根っこであって、観光の町でもある河津町としては「おもてなし」の根っことなるのではないのでしょうか。河津に住む一人ひとりの小さな思いと大切に向き合い続けていくこと。これが今回のワークショップで私がみつけた答えなのかもしれません。

「暮らしの根っこ」は、このワークショップを一緒に考えてくれたアーツカウンシルしずおかの伴走役の方からもらった言葉なのですが、私はこの言葉が気に入っています。そこには「住む理由」も「生活の中で大切にしたいこと」も全てが含まれている気がするから。紙漉きの会場となったワーキングスペースバガテルは、私の仕事の根っこともいえる場所です。今後もこういったワークショップがこの場所で開催され、様々な人たちが「暮らしの根っこ」を考える場所になってくれたらと思います。



アーツカウンシルしずおか

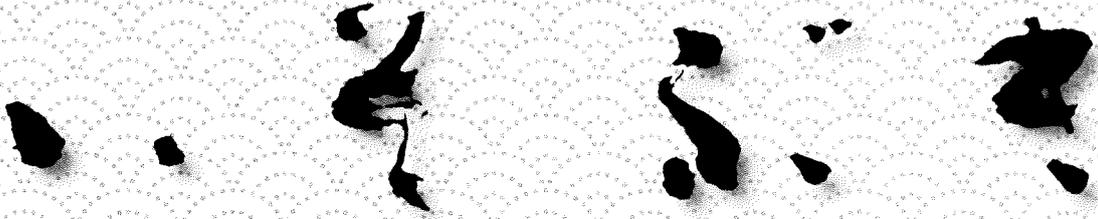
「視点をかえる 発想をひらく」をキャッチフレーズに、住民主体のアートプロジェクトの支援を中心として、物事の見方に変化を促し、発想を広げるお手伝いをする組織。地域住民とクリエイティブ人材との交流を促進するマイクロ・アート・ワーケーション(MAW)を主催。



**WORKING
SPACE
BAGATELLE**

人 × 河津 × 仕事

発行元
Working Space Bagatelle
河津町峰1073 河津バガテル公園内
MAIL:wada@nano-hana.online
協力：河津町 企画調整課
支援：アーツカウンシルしずおか



河津町文化協会 会報



河津町文化協会会報

令和6年3月発行

第50号

発行 河津町文化協会

願い致します。
これからも御支援、御協力どうぞよろしくお

まいります。
私達会員も発表の場所設定を考え、期待に応えらるるよう努めております。文化、芸術を通し行政、町民が一つの目的で繋がりが地道な活動も怠らず、地域と共に文化事業に取り組みで

さされました。
日頃から皆様方に河津町文化協会への御理解、御協力をいただき誠に感謝申し上げます。
「才四十二回河津町文化祭」は町民の方々始め町外からも足を運んでいただき盛況の中終える事が出来ました。心より御礼申し上げます。
また今回はアニマルキーパーズカレッジの皆さんが「ふれあい動物広場」を開催していただき、小さいお子さんから大人まで多くの来場者が癒されました。



河津町文化協会

会長

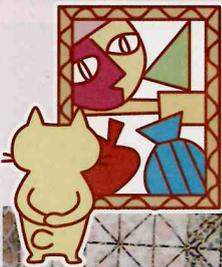
池田 静子

会長挨拶

民文化祭

展示部門

令和5年11月3～5日
会場：バガテル公園 オランジェリー



舞台部門

令和5年11月11日
会場：バガテル公園 オランジェリー

第42回町



第47回河津町民文化祭 舞石の部



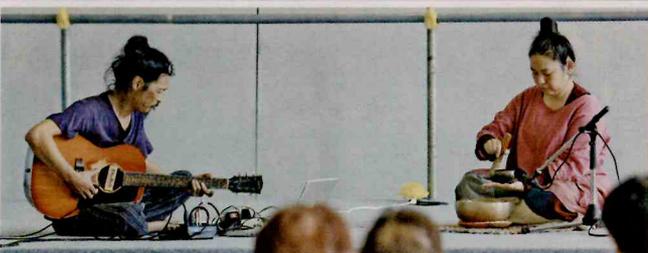
第42回河津町



第42回河津町民文化祭 舞台の部



第42回河津町民文化祭 舞台の部



楽しいおじさんバンド活動

河津町教育長 鈴木弘光

私は趣味で隣近所のおじさんたちとバンドを組んでいます。最近はおつばら、一九六〇年代後半に一大ブームとなった「ザ・テンプターズ」や「ザ・ワイルドワンズ」などのグループサウンドの曲を練習しています。細かい楽譜やCDもなく、おつばらインターネットなどで曲を聴いて覚え、メンバーがつくってくれたコード譜面をもとに、今の自分たちに表現できる「当時の名曲」の演奏を行っています。ドラム担当のメンバーが「うちのバンドは全くのコピーではなく、いわば、『カニかま』のようなもの」とうまく紹介してくれていました。当時の演奏を再現することは、技術的な面でも無理なわけですが、我がバンドでは、まず曲をそれぞれのメンバーが解釈し、担当する楽器で自分なりにできる表現をします。そしてメンバーが集まってワイワイ・ガヤガヤとまるでジグソーパズルを完成させるように楽しく音楽を作っていきます。また、地区の共同湯の跡地や町の文化祭などで発表させていただく機会もいただき、それらの懐かしい楽曲を地域の方々が聴いて「懐かしいね、思わず踊りたくなったよ。」と笑顔で喜んでくれるところからも楽しくなってきました。

文化には、伝統的なもののようにそれをしっかりと後世に伝えていかなければならないものがあります。その一方で、見たり聞いたり（聴いたり）体験したりして感じたことのなかに、興味・関心を見いだし、それを自分の中で吸収して表現し、人の繋がりの中でさらに発展させて、みんなで楽しんでいくことも文化であると考えます。十一月には本町においても町民文化祭が展示の部・舞台の部で開催されました。いろいろな作品や発表を見る中で、きっと興味・関心を持たれた人もいると思います。そこから河津町の楽しい人の繋がりがさらに生まれ広がっていくことを願っています。

令和5年度 河津町文化協会加入団体

No.	団体名	活動内容	理事	No.	団体名	活動内容	理事
1	文芸かわづ	文芸	稲葉修三郎	18	和結会	手作り	ケンブ百子
2	星雲短歌会	短歌	横山春子	19	コズミックホーム	手作り	後藤恵子
3	俳句の会	俳句	池田静子	20	写真真	写真真	竹之内範明
4	さ蕨会	書道	松井ひとみ	21	写真真	写真真	鳥澤久仁男
5	蛭雪	書道	奥井和子	22	写真真	写真真	森田光衛
6	絵本の会	絵本	長田三枝子	23	河津平安の仏像展示館	仏像	渡邊昌宏
7	水墨会	水墨画	田中眞悟	24	森谷歌謡	音響	中村勝三
8	油絵	油絵	安藤栄司	25	河津尺八同好会	尺八	赤堀孝之
9	油絵	油絵	船岡清治	26	器楽	器楽	千葉兼如
10	美術クラブ	絵画	板本直子	27	河津カナリア会	オカリナ	船岡みき子
11	版画	版画	折田直人	28	彩の音	オカリナ	船岡みき子
12	海藻おしば同好会	海藻おしば	池田静子	29	ローズマリー	オカリナ	船岡みき子
13	押し花の会	押し花	矢島節子	30	舞踊	舞踊	松本秀子
14	趣味の会	手芸	池田静子	31	クーレイレファ	フラ	加藤紀代子
15	ひまわり会	ちぎり絵	飯田智恵	32	日本空手道泊親会	空手	鈴木武男
16	工芸	工芸	袴田政司	33	どんぐりの会	ボランティア	入慶田本昌伸
17	南豆の山	製本	村木進				

会長：池田静子 副会長：横山春子 入慶田本昌伸

●新規加入をお待ちしております。会費は一人500円です。

加入希望の方は、事務局「池田静子 ☎32-0070」 ※お気軽にお問い合わせ下さい。

題字／鈴木谿石 編集／矢島節子・松井ひとみ・池田静子・横山春子

2024
令和6年
APRIL

4月

下田市民文化会館 マイマイホール

"Mai Mai Hall"

イベントカレンダー



本紙は、3月1日現在の情報に基づいて作成しております。

※内容の変更・開催中止 / 延期になる場合もございます。事前に各【お問い合わせ先】にご確認頂けますようお願い申し上げます。

▼大ホール▼

7(日)

松村宏樹コンサート・シリーズ Vol.3
『わくわく名曲コンサート』
ヴァイオリン 松村宏樹 ピアノ 青木智哉
開場 13:00 開演 13:30

入場料(全席自由)
一般券 2,500円 高校生以下 500円
※当日券 +500円

チケット取り扱い

・下田市民文化会館 ・村上書店 本店 / アネックス

【お問い合わせ】lazareth.999s@gmail.com

QRコード読み込みで

メール作成画面が立ち上がります。➡



14(日)

下田吹奏楽団 & Jr. ブラス
『第23回 定期演奏会』

開場 13:30 開演 14:00 入場無料

【お問い合わせ先】

下田吹奏楽団 野崎 ☎0558-28-0114

▼小ホール▼

20(土)

アコースティックで奏でる
ビートルズサウンド!

The Cool Fools

牧田 広重(Gt.Vo.) 宮沢 謙三(Gt.Vo.) 佐藤 弘之(Per.Vo.) 新聞 浩(Key.)

Special Live

OPEN 14:00 START 14:30

チケット 2,500円 ※1ドリンク付

【全席自由 / 未就学児入場不可】

プレイガイド

●下田市民文化会館

●チケットぴあ(Pコード263-242) <http://t.pia.jp>

【お問い合わせ先】

下田市民文化会館 ☎0558-23-5151

28(日)

ボランティア・グループ
花みずき会 『歌と踊りの集い』

開演 12:00 終演 15:00(予定) ご自由に

【お問い合わせ先】

花みずき会 小山 ☎0558-22-7540

【重要】下田市民文化会館からのご案内

令和5年度に小ホール設備の改修工事を行っております。
つきましては、下記の期間ご利用が出来ませんのでご了承ください。

施設及び期間

小ホール 令和6年1月 4日(木)～令和6年3月31日(日)

令和6年度に小ホール設備の改修工事が予定されています。

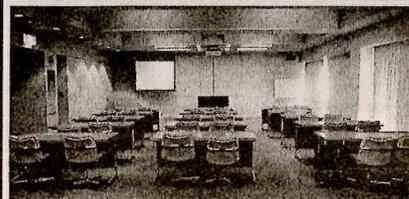
つきましては、下記の期間ご利用が出来ませんのでご了承ください。

施設及び期間

小ホール 令和6年11月19日(木)～令和7年3月31日(月)

皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

大会議室、小会議室1・2・3でWi-Fiが利用できます。



- ・大 / 小ホールでの使用はできません。
- ・Wi-Fiのパスワードは定期的に変更いたします。
ご使用の際は事務所でお知らせしますので、
窓口にてお声がけください。
- ・有線での接続は出来ませんので、無線LAN機能をお持ちください。
- ・その他、詳しくは下田市民文化会館HPなどでご確認ください。

ワーキングスペースをご利用ください!



ワーケーションで下田を訪れた皆様が、
まちなかで気軽に「仕事」ができる場所として新たに、
『まちなかワークスポット』を1Fロビーに開設しました。

<ご利用方法>

ワーケーションやテレワークによるビジネスユースの方を対象に無料でご利用いただけます。
受付はマイマイカフェにて利用証をお渡しします。
※学習や娯楽の目的ではご利用いただけません。

利用時間: 9時～17時

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始

※休館日以外でも施設の催事などにより
ご利用できない場合があります。

設備: Free Wi-Fi

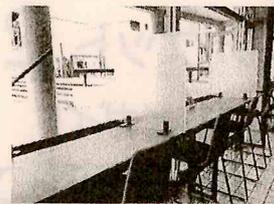
電源コンセント(USB対応)

卓上ライト

貸出: ブランケット

荷物かご

電気ストーブ



下田市民文化会館



友だち募集中!!



Mai Mai Cafe

【営業時間】10:00 am ~ 4:00 pm



下田市民文化会館

〒415-0024 静岡県下田市4丁目1番2号

TEL 0558-23-5151 FAX 0558-23-5311

☞ ホームページ

☒ URL <https://www.shimodapsi.com>

☒ e-mail ss-hall@vmail.plata.or.jp

<4月の休館日>

1日(月)・8日(月)・15日(月)・
22日(月)・30日(火)

アコースティックで奏でる
ビートルズサウンド!



The Cool Fools

牧田 広重(Gt.Vo.) 宮沢 謙三(Gt.Vo.) 佐藤 弘之(Per.Vo.) 新聞 浩(Key.)

Special Live

2024.4.20(Sat)

下田市民文化会館
小ホール

OPEN 14:00 START 14:30

チケット 2,500円 ※1ドリンク付【全席自由/未就学児入場不可】

プレイガイド

- 下田市民文化会館
- チケットぴあ (Pコード263-242)

<http://t.pia.jp>

♪絶賛発売中♪



お問い合わせ 下田市民文化会館 ☎ 0558-23-5151

※会館の駐車スペースには限りがございますので満車の際にはご了承ください。

下田地区保護司会会報

い ず み 伊豆海



東伊豆町から伊豆大島を望む

題字 永田文明

「第73回 社会を明るくする運動」

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための運動です。

この運動は、7月を強調月間および再犯防止啓発月間としていきます。

『下田地区保護司会の取り組み』

- ・市長、町長に内閣総理大臣メッセージを伝達（参加・協力依頼）
- ・街頭での広報啓発活動（駅頭、シヨップینگセンターなど）
- ・小中学校へ作文コンテストの依頼
- ・学校でのあいさつ運動参加

『作文コンテスト』

「社会を明るくする運動」の一環として、毎年、小中学生を対象に「作文コンテスト」を実施しています。本年度は、1市3町から594名の応募があり、下田地区保護司会の受賞者は別掲のとおりです。

この中で、県に推薦した作文の中から、「静岡県推進委員会委員長（県知事）賞の最優秀賞と優秀賞、静岡県就労支援事業者機構会長賞」の3点もの栄誉ある賞をいただきました。別掲に紹介します。

この「作文コンテスト」にご協力を頂いた教育委員会や学校関係者の皆様に感謝を申し上げます。



作文コンテストで受賞の朝長さん（右）中野さん（中央）高橋さん（左）



河津支部 街頭広報

「社会を明るくする運動」作文コンテスト 下田地区受賞者

下田地区最優秀賞

【小学生の部】

（県知事最優秀賞）

父から教わった心の花
町を明るくしていること
地域とのつながり
日常生活に危険はひそんでいる

白浜小学校 五年 朝長 心花
河津小学校 六年 山梨 惺矢
稲取小学校 六年 小池希愛来
南中小学校 六年 外岡 陽楠

【中学生の部】

（県就労支援事業者機構会長賞）

その後を支えている人たち
言葉の大切さ
明るい社会とルールの必要性
優しさに触れることで

熱川中学校 二年 高橋 はな
下田中学校 一年 土屋 茜
河津中学校 一年 朝岡 奈央
南伊豆中学校 三年 菊池 志優

下田地区優秀賞

【小学生の部】

（県知事優秀賞）

おいしいはずのご飯
あいさつに一言加えよう
社会を明るくするために
明るい社会はあいさつから
「言葉」の大切さ
薬物と向き合っていくこと

浜崎小学校 六年 中野 雄介
南伊豆東小学校 六年 木下 瑠華子
河津小学校 六年 土屋 芽唯
南上小学校 六年 山田 日葵
熱川小学校 六年 鳥澤 月海
大賀茂小学校 六年 榎谷 美紅

【中学生の部】

犯罪を犯してしまった人の立ち直り
犯罪や非行について
笑顔の絆、いじめの終わり
地域を明るく
犯罪や非行が繰り返されないために
違法薬物に対する認識を

熱川中学校 二年 野口 はな
稲取中学校 一年 岩井 優奈
南伊豆東中学校 一年 木下 華夏子
南伊豆東中学校 一年 臼井 悠人
河津中学校 一年 五十嵐 紗羅
下田中学校 一年 白井 心悠

【静岡県知事 最優秀賞】【小学生の部】

父から教わった心の花

下田市立白浜小学校 五年 朝長 心花



私の名前は、心花（もか）です。この名前は、陽だまりに咲く小さい花が好きで父が名付けてくれました。その小さな花を心の中で育ててほしい、小さな雑草でも、一生けんめい咲いている花をかわいいと思える人になってほしいという願いをこめて付けてくれたそうです。

以前観たテレビ番組で、どんな草花にも名前があり、きれいに咲いている菜の花が、もしその人にとって望まれない所に咲いていたら、それは、菜の花ではなくなってしまうそうです。私はそれを観て、植木職人の父に同じ花なのはどうしてか、ぎ間に思いついてみました。

父は植木職人として、いろいろな人の庭の掃除をしています。庭のすみにかわいく咲いている花をお客さんは、「抜いてください。」と言うそうです。「父さんは、きれいな花に見えるけどお客さんにとっては、ただの雑草に見えるんだ。時々、きれいな雑草を残して、手入れをしてお客さんがきれいだねと喜んでくれるんだよ。その時その雑草が庭をきれいにする花に生まれ変わるんだよ。」と、とても心温まる話をしてくれました。

その話を聞いて、テレビ番組で言っていた意味がなんとなくわかりました。その番組は、その小さな花にも名前があり、小さくてもきれいに咲こう、美しく咲きたいということの花たちは、教えてくれたのだと思いました。

父がしている植木職人の仕事は、草刈りや草抜きがとて大変で、抜いてもすぐに数日後には、また生えてくるようです。そんな雑草の姿を芽を出しがんばって咲いている姿を私は人間と比べてしまいました。人にいじわるをしたり、悪いことをしたりする人が世の中にはいます。どんな人にもそれぞれに名前が付いています。みんなから嫌われるようなことをしてしまうので、せけんからつまみはじかれてしまうのが当たり前かも知れませんが、けれど、そんな人たちにも優しく声をかけてあげたり、見守ってあげたりできたら、その人たちもいざきれいな心になるような気がしました。

悪いことをする人を雑草扱いしてしまったり、その人は何度も何度も同じことを繰り返すでしょう。周りからは、無視され、悲しい気持ちになってしまいます。そうならないためには、私達が、声をかけ続けなければいけないような気がしてきました。そうすればいくら悪いことをしているからといって必ずふつうの人にもどれるような気がしました。雑草と人間を比べること自体おかしいことかもしれませんが、けれど、もしも自分が周りから雑草のような扱いをされたら、悪い道へ進むかも知れませんが、

私は、父が心花という名前を付けてくれたことに感じやします。困っている人、悩んでいる人、悪いことをしそうなる人、いじわるな人に対して、やさしい気持ちで接し、あきらめないできれいな花と一緒に咲かせようと声をかけてあげたいと思います。

【静岡県知事 優秀賞】 【小学生の部】

おいしいはずのご飯

下田市立浜崎小学校 六年 中野 雄介



お世話になって八百屋さんのおばあちゃん、いつもニコニコと笑っている。日もその笑顔を楽しみにしてお店に向かった。けれど中に入るといつものニコニコとしたおばあちゃんの姿は無かった。そこに居たのは、暗い顔をしたおばあちゃんだ。「万引きにあったの。」おばあちゃんは話した。お弁当を盗まれたのだ。一つ何百円で売っている大切な商品をお金を払わず持って行ってしまった人がいた。一生けん命頑張っていることをふみにじられたおばあちゃんの悲しみが伝わってくる。僕は、腹が立った。持って行った人は、はたしてそのお弁当を、どんな気もちで食べたのだろうか。おいしいと感じることはできたのだろうか。

（おいしいはずのご飯が、おいしく食べられない。）僕には経験がある。昔、友達と立ち入り禁止の空き地で遊んでいて、怪我をした。僕は本当のことを言うのがこわくて、親や学校の先生にうそをついてしまった。うそをついたまま食べた夕ご飯は、味がしなくて、のどを通らなくて、とても食べた気がしなかった。次の日の朝ご飯も、給食も変わらなかった。ご飯の味が戻ったのは、本当のことを話してからだ。先生に親に、友達に全部話して謝った。話しながら僕は怪我なんかより黙っていたことうそをついてしまったことのほうがよっぽどつらくて苦しいんだとわかって涙が止まらなかつた。

おばあちゃんは、万引きについて警察に相談はするけど防犯カメラをつけたり、商品の並べ方を変えたりはしないそう。僕はその決断をちよつと不思議に感じたけれどそんなおばあちゃんをほころしくも思った。今まで通り、おばあちゃんはおばあちゃん、八百屋さんを続けていくのだ。きっと僕が、次にお店に来る時には、ニコニコした顔で迎えてくれるだろう。

万引きしてしまった人はどうだろうか。うそをついた時の僕のように、ご飯の味がしなかつたり、夜、なかなか眠れなかつたりしないだろうか。僕がこわくて話せなかつたことを打ち明けたら、先生や親は、ちゃんと聞いてくれた。悪かったことは、叱られたけど反省して話したことは「えらかつたね。」と認めてくれた。正直でいるのが一番いい。そう思えるのは、間違つたことをしても後悔して、反省して、本当のことを話した時に受け入れてくれる人たちがいるからだ。変わらず見守ってくれて遊べて一緒に笑いあえる人たちがいるからだ。

万引きしてしまった人がどうするかはわからない。盗んでしまったこと、間違つたことをしてしまったことは変えられない。けれどももしその人が心から後悔して、反省してちゃんと謝つたとしたら、その人にも誰か受け入れてくれる人がいてほしい。そしてまたおいしいご飯をおいしく、できれば誰かと一緒に食べてほしい。

【静岡県就労支援事業者機構会長賞】 【中学生の部】

その後を支えている人たち

東伊豆町立熱川中学校 二年 高橋 はな



もし、身近な人が犯罪を起こしたとき、今まで通りの関係でいようと思えるだろうか。ある授業で、もし自分の会社に元殺人犯の人間が入って来たらどうするか、と聞かれた。話を振られた人は嫌がついてた。理由を聞かれると、

「また殺すかもしれないし、殺されるかもしれない。何をするか分からなくて怖いから。」と言っていた。私も全くの同意見だった。しかし、犯罪を犯した事を反省し更生しているという。でもな、と思った。それは果たして本当なのか、嘘をついているのではないのか。元殺人犯というレッテルから、こんなにも信用できなくなるのだな、と振り返ってみて思う。そして、先生は言った。

「反省して、新しい人生を踏み出そうしているのに、それを邪魔しているのは周りの人間じゃない。」
確かにそう。前科がありながらも、罪を償い一生懸命前を向いて歩こうとしているのに、その道を閉ざしているのは犯罪者という色メガネを通して見えてしまっている周りの人間だ。きっと、私のように嫌だなと感じる人は少なくないはずだ。快くその人を受け入れられる人の方が珍しいのではないだろうか。しかしそれならば、犯罪を犯してしまつた人たちはその後どうやって生きていくのだろうか。

疑問に思つた私は、その後について調べた。すると、次から次へとたくさん情報が出てきた。こんなにあるんだ、とホッとした。いち早く普通の生活に戻れるように支援をしている人が、知らなかつただけで大勢いたのだ。その中でも特に目を引いたのが「更生保護」と「保護司」という言葉だった。まず、更生保護とは何かというところから自分たちを適切に扱うことにより、その再犯を防ぎ、更生保護をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することで社会を保護し、個人と公共の福祉を増進しようとする活動である。そして、更生保護を支えているのが保護司と呼ばれる人たちだ。保護司とは、犯罪や非行をした人に対して、更生を図るための約束ごとを守るよう指導し、生活上の助言や就労の援助などを行い、その立ち直りを助けるという役目をしている人だ。そう。ここで私が驚いたのは、保護司は法務大臣から認められた非常勤の国家公務員のため、給料は貰えない、という点だった。そんな人が全国に四万人程いることに衝撃を受けた。そこで私は、（怖いと思わないのかな。）

と思った。もし自分が保護司になったら、怖がらずに対象者と相手できるだろうか。気になって、インタビュの記事を見てみると、
「怖いこともあつたけど、最初から考えを押しつければだめというコツがある。」「怖いは思わなかつた。」と書いてあつた。こういう人が、保護司になって知らないところで支えられていくのだ。きっと、対象者の人にとって、他とは違う存在なのだろうな、と感じた。

その後を調べて実感した。今日も全国のいろんなところで、更生しよう頑張っている人たちがいる。しかし、私はどうだろうか。多くの人の努力が実を結んでいることは知れた。この事実を知れたことには意味がある。知つたからこそ何か自分ができることはあるはずだ。その時、インタビュ記事を読み出した。「相手に寄り添う事が大事。」という言葉。私も、誰かに寄り添ってあげることができるかもしれない。家族でも、友達でも。そうすれば、悲しい事を未然に防ぐこともできるかもしれない。それが、私なりの明るい社会への第一歩なのだ。

令和5年度 下田地区保護司会総会の開催

令和5年5月11日下田市民文化会館にて、令和5年度下田地区保護司会総会が開催された。

本年度は新型コロナウイルス感染症で縮小していた活動をできる限り再開していく方針を確認した。また、矢田部会長から、最近では、保護司に対する期待や状況が以前とは著しく変わり、犯罪や非行を防止する社会活動や更生した人々を温かく受け入れる社会づくりに積極的にかわる活動が求められている。保護司会として、再犯防止への法律に基づき市町との連携による、具体的な施策をこれまで以上に進め、明るい社会づくりを進めることが大事との挨拶があった。

引き続き議事に入り、昨年度の事業・決算報告、本年度の事業計画・予算案が承認された。
役員改選で会長の矢田部泰子氏、副会長の高寺輝行氏が再選され。新たな副会長に井手伸二氏が選出された。



下田地区保護司会総会と御来賓の方々



井手伸二副会長



再任された矢田部泰子会長（右）と高寺輝行副会長（中央）

令和5年度 静岡県更生保護顕彰式典 開催

令和5年11月28日、県内の更生保護活動に尽力した個人や団体に表彰状および感謝状を伝達する式典が静岡市駿河区のグランシップにおいて開催された。

令和5年度 下田地区保護司会の顕彰者は次のとおり

- ◎ 法務大臣表彰
垂井 伶子（東伊豆支部）
- ◎ 関東地方更生保護委員会委員長表彰
加藤 正通（東伊豆支部）
高寺 輝行（下田支部）
- ◎ 関東地方更生保護委員会委員長感謝状
稲取仏教会（東伊豆町）
- ◎ 関東地方保護司連盟会長表彰
竹河十九巳（南伊豆支部）
西尾 清（東伊豆支部）
増田 興世（下田支部）
- ◎ 静岡県保護観察所長表彰
稲葉 統（東伊豆支部）
鈴木 喜久子（南伊豆支部）
山田 吉利（下田支部）
- ◎ 静岡県保護観察所長感謝状
株式会社徳造丸（東伊豆町）
曹洞院（下田市）
- ◎ 静岡県保護司会連合会長表彰
後藤 秀一（河津支部）
島田 正好（東伊豆支部）
須藤 裕文（東伊豆支部）



令和5年度顕彰式典参加者

「保護司と学校との連携」ミニ集会

下田地区保護司会では、保護司や更生保護に対する理解を深めるための活動の一環として毎年、地域内の中学校を訪れ、生徒とのミニ集会を開催しています。

本年は、南伊豆中学校に協力をいただき、一年A組三十六名を対象に開催しました。集会には保護司十名と更生保護女性会員二名が参加しました。

長谷川保護司に進行と授業をお願いし、まず動画により「保護司の役割や活動」について紹介しました。

引き続き本日の授業のテーマとして、してはいけないことをしてしまいう私たちの心の中を「うそをつくこと」から、「してはいけないこと」、「うそをつくのとは？」、「うそにかくれた心の信号」などを例に学びました。生徒からはそれぞれの学校や家庭での生活の中から感じたこと、うそをついた反省談など、活発な発言がありました。

さらに、本日の授業を感想文にしてもらったところ、「保護司の仕事が分かって良かった」、「どんな人でも更生すればきつといい人になれるんだ」、「うそは自分を守りたいからあるんだ」、「うそをついて取り返しのつかない前にだれかに相談したい」などたくさん感想や意見を頂きました。

今回のミニ集会から、子供たちが抱える様々な問題に対応し、学校と保護司会がそれぞれにできることを持ち寄って支援していくということが重要であると感じました。このことが子供たちの中にも地元の人たちが見守ってくれるという安心感が生まれてくるのではないのでしょうか。



課題に対する感想や意見を熱心に考える生徒たち



長谷川保護司による授業
南伊豆中学校1年A組



更生保護女性会



下田地区新会員研修 7/20



少年の家奉仕活動



稲取高校（小林洋子先生）
冠講座 9/27



下田警察署視察研修

更生保護女性会は、女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子供たちの子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

令和5年度 視察研修

10月25日～26日の日程で、保護司会員17名・更生保護女性会会員4名の参加により浜松方面の更生施設を訪れて研修を実施しました。

初日には、「浜松城」、「どうする家康 浜松大河ドラマ館」、「特別史跡新居閣跡」を見学しました。翌26日には、「金原明善生家・記念館」を訪問し、更生保護事業の創始者として、また、社会貢献一筋に生涯を捧げた翁の事業から今後の保護司活動の必要性和社会貢献の大切さを再認識しました。つぎに訪問した社会福祉法人「デンマーク牧場福祉会」は全国でも数少ない牧場のある社会福祉法人です。施設長の案内で介護施設や牧場バスで牧場事業を見学しました。施設長からは、社会福祉法人の理念と活動状況が説明され、我々参加者に理解と協力のお願がありました。見学後は「牧場事業」で製造された乳製品と羊毛製品を購入しました。

コロナ感染により自粛してきた一泊二日の視察研修を行うことにより、参加者同士の親睦をより深めることができました。今後の保護司活動に生かしていきたいと思っております。

研修部



デンマーク牧場福祉会
施設において研修



浜松城見学



湖西市新居閣所跡見学



金原明善生家・記念館訪問



薬物乱用防止について

薬物乱用防止対策について

今日、大麻、覚醒剤、麻薬などの薬物の乱用（たった一回の使用でも乱用となる）が深刻な社会問題となっており、薬物乱用問題は、ごく普通の生活をしている私たちの身近なところへも迫ってきています。

薬物によって引き起こされる幻覚や妄想から凶悪な犯罪に発展するなど、その被害は計り知れません。たとえ一度でも乱用すると自力ではやめることができなくなり、薬物依存症という病気になります。県内では、特に大麻の検挙者が増加傾向にあり、令和4年の大麻の検挙者は初めて覚醒剤の検挙者を上回りました。このうち10代・20代の青少年が6割以上を占めるなど、若い世代の乱用の拡大について憂慮すべき報道もなされています。この薬物防止乱用について下田地区保護司会では、5月に静岡市で「関東地区薬物乱用防止指導員研修会」、11月に静岡市で「薬物乱用防止県民大会」に薬物部長他が出席し研修を重ねています。

この度、下田地区保護司会では1月19日に下田市民文化会館に於いて、薬物乱用防止対策について第Ⅲ期地域別定例研修会および自主研修会を開催し、21人の会員が出席し、研修しました。

・第Ⅲ期 地域別定例研修（薬物事犯者等の処遇について）

講師― 静岡保護観察所 沼津駐在官事務所 鈴木保護観察官

講義概要― 覚醒剤等の違法薬物の使用は、「犯罪」であると同時に、病気としての側面も有している。講義では、薬物依存についての理解を深めると共に、保護司が直面している薬物事犯の保護観察対象者との面接での事例検討等が行われ、活発な意見交換がありました。

・自主研修会（薬物乱用防止について）

講師― 下田警察署刑事課 吉田警部補

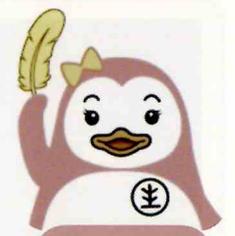
講義概要― 薬物取締の必要性・重要性について現場からの説明や協力依頼がありました。

薬物乱用の情勢、最近の薬物事犯の傾向、令和4年の全国・静岡県・下田警察署管内の検挙人数の内訳の説明。下田警察署管内の薬物事犯の特色は、観光地であり旅行者が多いこと、暖地の恵まれた環境による大麻栽培、海に囲まれた環境を利用した密輸など管内の犯罪の特色を興味深く伺いました。

この研修会から、薬物乱用をなくすためには、一人ひとりが薬物の恐ろしさをしっかりと自覚すると共に、家庭や学校そして地域のみなさんと協力して、薬物乱用防止の輪を広げ、安心して暮らせる環境を作っていくことが必要と再認識しました。



ホゴちゃん



サラちゃん

犯罪被害者を支援 今春条例施行へ

支援の意識を高めるきっかけに

賀茂地区6市町が今年4月を目指し「犯罪被害者等支援条例」の準備を進めている。

この条例は、殺人や、性被害関係、全治一ヶ月以上のケガを負った傷害事件、死亡交通事故などの当事者や家族を支えるために行政が中心となり社会全体で支援する制度です。

この制度では、給付金のほか、カウンセリング費用や医療費、引越越し費用などの負担軽減を図っています。

この条例の施行により、法規面での犯罪被害者支援の環境が整い、適切な行政サービスが行われることとなりました。

伊豆海

令和6年2月

発行者

下田地区保護司会会長 矢田部 泰子

事務局

下田市福祉事務所

連絡先 0558・22・2216

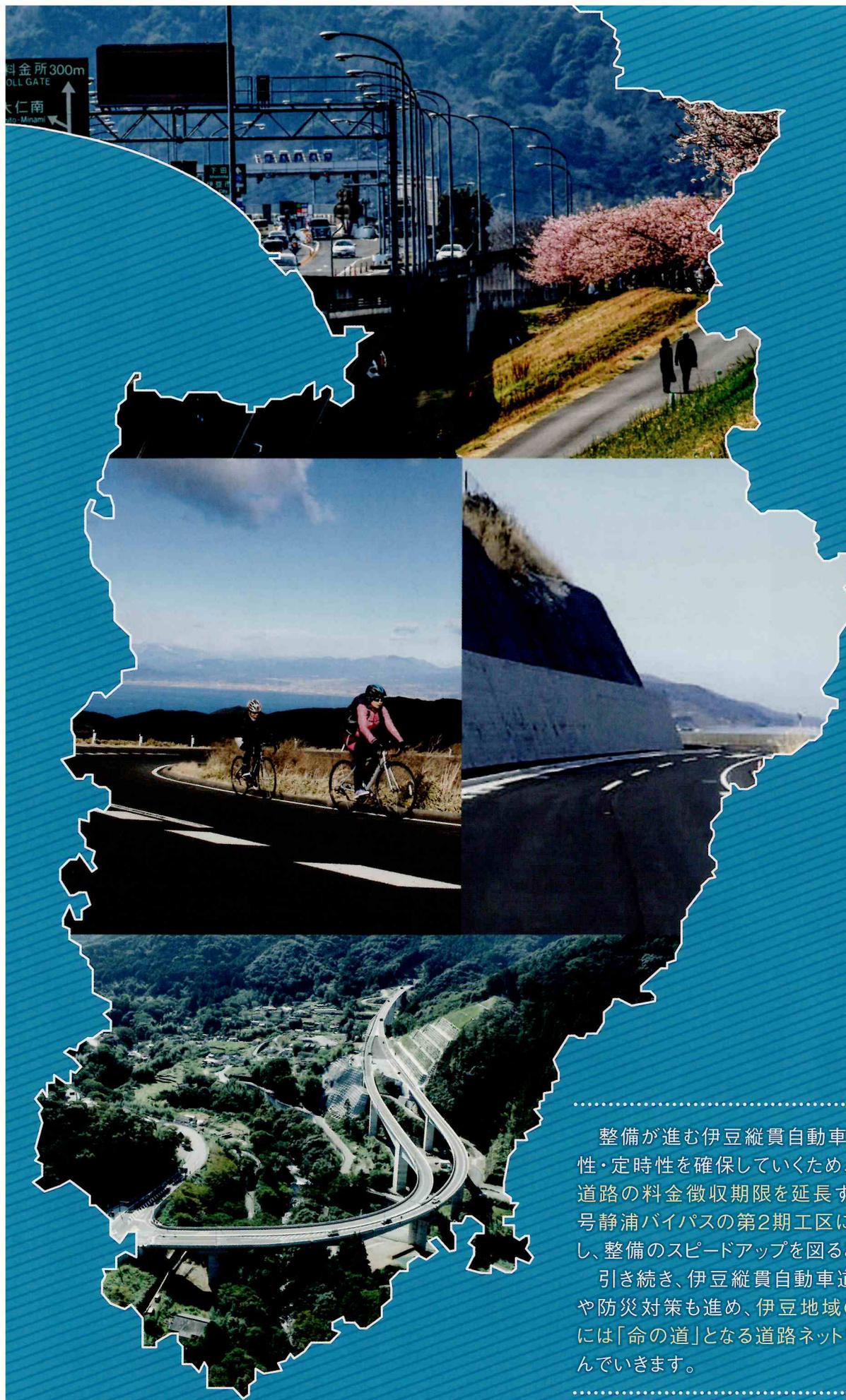
印刷所

すぎのこ作業所

連絡先 0558・28・0123

下田市加増野376番4号

伊豆地域の未来を支える 道路ネットワークを目指して



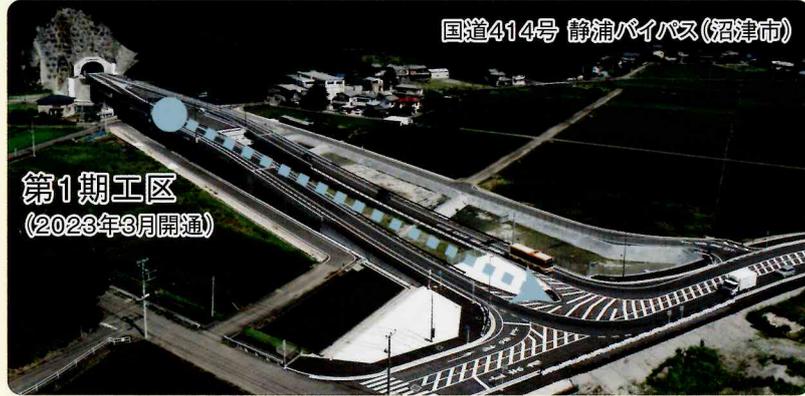
整備が進む伊豆縦貫自動車道と一体となって高速性・定時性を確保していくため、伊豆中央道・修善寺道路の料金徴収期限を延長するとともに、国道414号静浦バイパスの第2期工区に有料道路制度を活用し、整備のスピードアップを図ることになりました。

引き続き、伊豆縦貫自動車道のアクセス道路整備や防災対策も進め、伊豆地域の発展を支え、災害時には「命の道」となる道路ネットワークの構築に取り組んでいきます。



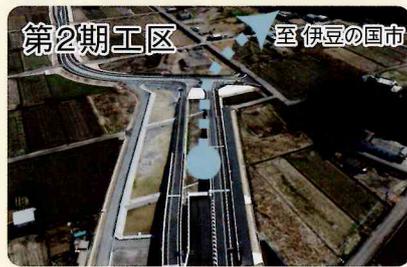
国道414号 静岡バイパスの整備

伊豆縦貫自動車道とともに幹線道路ネットワークを形成する、国道414号 静岡バイパスの整備に取り組んでいます。



国道414号 静岡バイパス(沼津市)

第1期工区
(2023年3月開通)



第2期工区 至伊豆の国市

第1期工区
(沼津市下香貫～大平)

<2023年3月開通>

第2期工区
(沼津市～伊豆の国市)
一日も早い開通を目指し、有料道路事業を活用して整備

<2038年開通予定>

伊豆地域の道



伊豆中央道・修善寺道路の利便性向上

伊豆中央道・修善寺道路の利便性向上に向け、2027年のETC導入を目指し、取り組んでまいります。

現状 (現金・回数券・ETCX)



一旦停止

ETC導入後



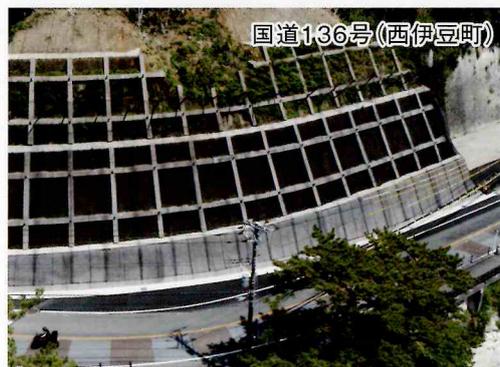
徐行

出典:国土交通省HP

※ETCXの新たな料金割引を開始!(詳細は裏面参照)

災害に強い 道路整備

県土強靱化に向けて、法面の崩落を防ぐ防災対策や、老朽化した構造物の維持補修を行っています。



国道136号(西伊豆町)

交通円滑化 狭あい区間の解消

幅員が狭かったり、線形が悪い区間を改良し、安全で快適に走行できるよう整備しています。

路ネットワーク



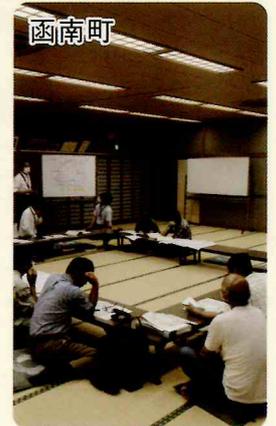
伊豆中央道・修善寺道路の適切な管理

橋梁・トンネルなど、大規模で特殊な構造物が多い伊豆中央道や修善寺道路の維持管理を適切に実施していきます。



生活道路への流入対策

地域の生活道路を守るため、生活道路への流入対策についても、地域の皆様と対話を進めながら実施してまいります。



交通円滑化 渋滞の緩和

渋滞や混雑を緩和させるため、右折レーンの設置や多車線化などに取り組んでいます。



伊豆中央道・修善寺道路の利便性向上:新たな料金割引

ETCXをご利用いただいた場合、100回の利用で5割引となる新たな料金割引を昨年10月1日からスタートしました。是非お申し込みください!

伊豆中央道・修善寺道路

ETCX 新料金割引&キャンペーン

～令和5年10月1日から開始!～

新料金
割引
スタート!

■「いずトクX100」割引(※100回利用・5割引)

専用申込必要

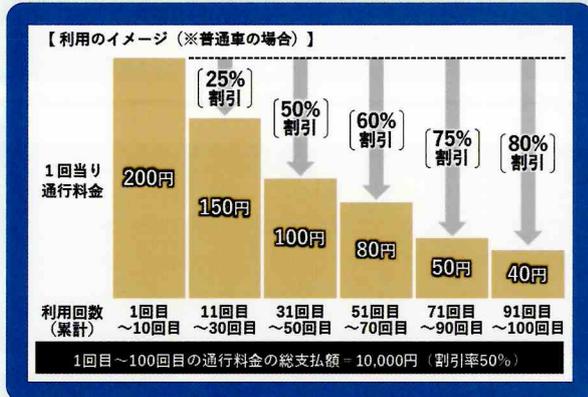
ETCX限定で、100回分の通行料金(総額)が5割引となる「いずトクX100」割引を開始しています。「段階的割引方式」、「電子回数券方式」の2種類からお選びいただけます。



詳細は
コチラ→

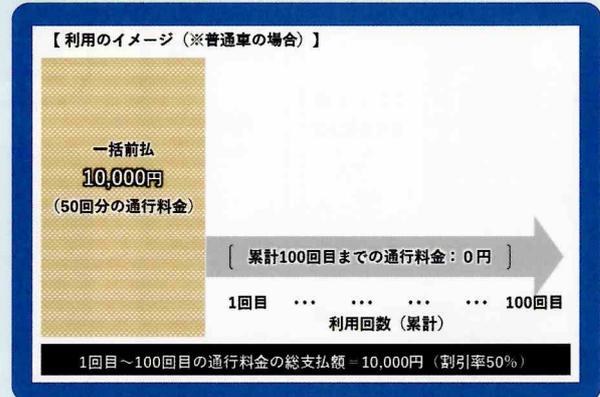
① 段階的割引方式

(利用回数が増えるほど、割引率がアップ!)



② 電子回数券方式

(50回分の料金前払いにより、100回分通行できます!)



(注!) 累計100回目の通行後、カウントは自動的に1回目に戻ります。

乗換
キャンペーン!

■回数券→ETCX乗換キャンペーン

専用申込必要

ETCXの利用・割引適用を希望されるお客様で回数券をお持ちの方でも、安心してお得にETCXに移行できるよう、「回数券→ETCX乗換キャンペーン」を実施しています。(※キャンペーンの適用は、お1人様1回限り)



詳細は
コチラ→

CHECK! キャンペーン ①

ETCX登録者の回数券払戻し手数料を**無料**に!

所定の申込手続きにより、払戻時に必要となる手数料(回数券残額の10%)を無料にします。

CHECK! キャンペーン ②

回数券を払い戻したETCX登録者全員に、**ETCX無料通行10回分プレゼント!**

ETCX無料通行10回分をシステム上で付与します。(キャンペーン期間:令和7年9月30日まで)

CHECK! キャンペーン ③

回数券を払い戻したETCX登録者に、抽選で**QUOカードPayプレゼント!**

毎月10名様にQuoカードPay1,000円分が当たります。(キャンペーン期間:令和6年9月30日まで)

静岡県道路公社

<http://www.siz-road.or.jp/>

〒420-0853 静岡市葵区追手町9番18号

● 本社道路部企画業務課

● 東部管理センター

Tel. 054-254-3424(平日8:30~17:15)

Tel. 0558-76-5718(平日8:30~17:15)

新料金割引・
キャンペーンの
詳細はコチラ→

